

## 東海地区協議会の歩み

年度	月日	協議会事項
1930(昭5)	6.28	「東京私立大学図書館協議会」創立
1938(昭13)	5.6~7	「全国私立大学図書館協議会」創立
1943(昭18)	5.19~20	「全国私立大学図書館協議会」を「私立大学図書館協会」に改称
	11.15	「分会」は「部会」に改称 「私立大学図書館協会京都懇談会」を開催し、これを「京都部会」として発足
1949(昭24)	6.3	「関西部会」発足
1950(昭25)	11.1~2	「東京部会」を「関東部会」に改称
1951(昭26)	10.24~26	中部地方加盟校は「関西部会」に所属することが決定
1954(昭29)	11.19	関西部会秋季部会で、九州・名古屋・兵庫県・大阪・京都、各地区で研究会設置に向け努力することが承認される
1957(昭32)	10.12	地区研究会設置の進展がみられないため、再度、関西部会秋季部会で、西地区を名古屋・京都・阪神・九州の4地区にわけ、研究会設置を促進するよう提案が出される
1958(昭33)	5.17	関西部会春季部会で、「阪神地区研究会」が発足
	9.27	「京都部会」を「京都地区研究会」に改称
	12.12	第1回名古屋地区研究会で研究会細則を立案 第2回名古屋地区研究会で「名古屋地区研究会細則案」を可決
1959(昭34)	5.23	関西部会春季部会で「関西部会愛知地区研究会細則」制定（施行は1958年9月27日） これで、関西部会は「京都地区」「阪神地区」「愛知地区」3つの研究会が成立
1960(昭35)	6.2~4	私立大学図書館協会の加盟校増大にともない、「会則」の全面改正がされ、地区部会を重視する規程となる
1961(昭36)	12.25	『館灯』（私立大学図書館協会愛知地区研究会）創刊
1963(昭38)	6.26	愛知地区加盟館定期刊行物リスト作製並編集委員決定
	10.30	皇學館大学の加盟を機に「愛知地区研究会」を「東海地区研究会」に改称
1964(昭39)	4.25	関西部会春季部会で「西南地区研究会細則」が制定され、西南地区研究会が発足 これで、関西部会すべての地域に研究会が設置される
1965(昭40)	5.2~4	部会の名称「関東部会」「関西部会」を「東地区部会」「西地区部会」と改める
1970(昭45)	5.10	『館灯ニュース・レター』第0号（創刊準備号）刊行
	7.10	『館灯ニュース・レター』第1号刊行
	10.22	『館灯ニュース・レター』第2号刊行（2号まで発行）
	11.5	東海地区第2回研究会で「図書館協力と雑誌総合目録について」がテーマに掲げられ、東海地区研究会の雑誌総合目録を作成することを前提に常任幹事校で検討をすることになる
1971(昭46)		「西南地区研究会」を「中国・四国地区研究会」と「九州地区研究会」に再編 研究会細則を制定し、5研究会で活動を開始
	11.24	『東海地区私立大学洋雑誌総合目録』編纂を機に相互協力を強く推進する原動力とすることを決定
1974(昭49)	6.18	『東海地区私立大学洋雑誌総合目録』刊行
1976(昭51)		「東海地区研究会秋季研究会」を「東海地区研究集会」と名称を改め、年1回開催とする 研究会運営委員は、幹事校・前年度幹事校・次年度幹事校の推薦により組織することになる 収書・整理・奉仕の3分科会（年6~9回）が開催され、分科会活動が活発に行われる （1978年度まで3分科会開催）
1977(昭52)		『東海地区大学図書館相互利用ハンドブック』私立大学図書館協会研究助成を受ける
1978(昭53)	5.12	「学術雑誌総合目録・東海地区版編集委員会」を設置し、逐次刊行物の地区データベース作成開始
	7.1	『東海地区大学図書館相互利用ハンドブック』刊行
1979(昭54)		整理分科会と奉仕分科会の2分科会を開催（1980年度まで）
1980(昭55)	10.20	『東海地区私立大学雑誌総合目録 和文編 1980年版』刊行
1981(昭56)		分科会を1分科会に統合し、総合的研究の場とする
1982(昭57)	5.21	「学術雑誌総合目録東海地区版データ・ファイルの個別利用についての取り決め事項」制定 「『館灯』投稿並編集申し合せ事項」制定

年度	月 日	協議会事項
1983(昭58)	5.20 5.20 7.11 1.13	『東海地区私立大学雑誌総合目録 和文編 1982年補遺版』刊行 「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則」および細則制定 「東海地区研究会」が「東海地区協議会」に名称変更、「東海地区研究会」は「東海地区協議会」の下部組織となる 西地区部会担当理事校(甲南大学)に機械化(仮称)推進委員会委員が集まり、第1回(西地区)機械化推進委員会が開催(1982年度私大総大会で決議)される 機械化推進委員会活動方針に対する地区の対応について協議
1986(昭61)	6.26	機械化推進委員会活動として東海地区協議会加盟館「情報交換会」を開催 学術雑誌総合目録(全国版)がコンピュータ処理となり、東海地区版作成を終了
1987(昭62)	5.14	「東海地区機械化ワーキンググループ」設置
1988(昭63)	5.12	『東海地区私立大学新聞目録 1987』刊行
1989(平元)	5.25	「東海地区相互協力委員会」設置
1990(平 2)	8.23~24	相互協力実務担当者研修会(1泊)開始(隔年開催)
1991(平 3)	12.5	機械化情報交換会開始
1992(平 4)		機械化ワーキンググループ発展的解消 機械化研究会(仮称)準備委員会設置 機械化に関するアンケート実施
1993(平 5)	6.4	「東海地区機械化委員会」設置
1994(平 6)	7.6 7.7 10.20~21	第1回東海地区機械化委員会・相互協力委員会合同会議 東海地区機械化委員会主催で見学会(トーハン)開催 東海地区機械化委員会主催で見学会(ナカバヤシ)開催 これが以降の見学会の始まり NACSIS/BBS CUG.TOKAIを開設
1995(平 7)		「図書館間オンライン目録検索ガイドライン」承認
1996(平 8)		東海地区協議会ホームページ公開
1997(平 9)	5.30 11.21	「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会紀要・学内学会誌分担保存協定」制定 NACSIS/BBS CUG.TOKAIを閉じ、その機能をメーリングリストに移管 「相互協力情報交換会」開催
1998(平10)	5.29	「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会ホームページ運用に係る申し合せ」実施
1999(平11)	5.28	「東海地区機械化委員会」を「東海地区情報化委員会」に名称変更 研究会「分科会」の名称を「研究会」に変更 『館灯』38号より判型B5サイズよりA4サイズに変更
2000(平12)		東海地区協議会理事校選出ルールを職員数から学生数に変更
2001(平13)		東海地区協議会ホームページをレンタルサーバー運営に変更
2002(平14)	5.22	「図書館管理・運営実務責任者会議」設置 『館灯』41号より発行を「東海地区研究会」から「東海地区協議会」に変更
2003(平15)	5.30	東海地区協議会ホームページ、私立大学図書館協会サイトにて開設 「私立大学図書館協会東海地区協議会メーリングリスト運用に係る申し合せ」実施
2005(平17)	5.24	「東海地区相互協力委員会」「東海地区情報化委員会」を統合し、「図書館サービス・システム委員会」を設置 2005年度より、見学会と実務担当者研修会を隔年交互で開催 『館灯44号』より<加盟館員名簿>を個人情報保護の観点より<加盟館名簿>に変更
2009(平21)	5.29	東海地区協議会研究会を再編し、新体制(委員長校・主幹事・副幹事)となる 「図書館サービス・システム委員会」を「東海地区研究会」に統合
2010(平22)	4.23	「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会役員校の選出基準についての申し合せ」制定
2011(平23)	3.31	『館灯50号』記念号発行
2012(平24)	8.27	私立大学図書館協会ホームページ(東海地区協議会ホームページ含む)リニューアル
2014(平26)	3.31	旧東海地区協議会ホームページ(2012年度リニューアル前)公開終了
2016(平28)		NII-ELSの事業終了に伴い、『館灯』のデータをJ-STAGEに移行
2020(令2)	4.1	「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項」制定
2023(令5)	5.26	「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会事業に係る申し合せ」制定

東海地区研究会発足までは、私立大学図書館協会および西地区部会の動きを中心に記載した。  
「50号記念特集〈資料〉」作成にあたっては、下記の文献を参考にした。

- 【参考文献】：『館灯』東海地区協議会  
『私立大学図書館協会会報』私立大学図書館協会  
『私立大学図書館協会史Ⅱ』私立大学図書館協会 1978.7  
『私立大学図書館協会五十年史〈本文篇〉〈記録篇〉』私立大学図書館協会 1993.3